

**K** 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！  
**急停車によるバスの車内事故**

**Y** 事故を未然に防ぐために、予測される危険や  
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



**Q**

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



**交通  
状況**

- 寒い冬の朝、路線バス(ノンステップ)を運転しており、間もなく次の停留所にさしかかります。
- 車内には高齢者が多数乗車しており、立っている人も確認できます。
- 停留所には乗車する人がいないと思い通り過ぎようとした時、柱の後ろに手を上げている人が見えました。

**A**

このような危険が！

✓ 乗客が転倒する危険

- ・停留所に人がいたとはいえ、急ブレーキを踏んで止まろうとすると、車内で立っている乗客の状態によっては転倒しけがをさせてしまう恐れがある。また、ノンステップバスの後部には段差があるので、ここに立っていた人が前方に転倒すると大きなけがにつながるかもしれない。
- ・乗客が手すりやつり革につかまっていた場合でも、着用している手袋の種類によっては滑りやすく、転倒につながる恐れがある。



✓ 追突される危険

- ・急停車によって、後続車から追突される危険性がある。



このような運転を！

- ✓ 立っている高齢者や体の不自由な乗客が、どの位置にいるかを確認。
- ✓ 車内事故防止のためのアナウンスを徹底。  
・「走行中に席を立たない」「バスが完全に停止してから移動する」、立っている乗客には「手すりやつり革をしっかり握る」などを車内アナウンスで注意を促す。
- ✓ 人が見えづらい停留所に接近する際は、注意深く減速し急ブレーキを踏むことがないようにする。

トラックの場合では、お客さまから預かった大切な荷物を載せています。  
急ブレーキや急発進で荷崩れを発生させないように注意して運転しましょう。